

2023（令和5）年度事業計画

新型コロナウイルス感染拡大の中で、今年度も昨年度と同様に、教育交流派遣事業・支援事業・受入事業・研究等助成事業について、当初計画したことがほとんど実行できませんでした。しかしながら、困難な状況下にあっても、来年度こそは、中国宋慶齡基金会との「教育交流プロジェクト」の推進を中心に、派遣・受入れ・支援の「草の根教育交流」をより深く多様に発展させることを目指して、取り組みを進めて参りたいと考えています。過去8回にわたって積み上げてきた中国人留学生と日本の教職員家庭との友好を深める「教育交流ホームステイ」事業や、日中の青年たちの交流を通しての友好・相互理解の輪をも広げて成果を積み上げてきた「教育交流シンポジウム」等、その大きな成果や意義を踏まえると、これらの取り組みを途絶えさせてしまうわけにはいかないと考えています。

協会の持続可能な活動を発展させるため、2023（令和5）年度は下記の教育交流事業を推進します。

1. 教育交流・派遣事業

- ① 「新たな教育交流プロジェクト（河北省保定市阜平县との教育交流）」の実施内容を、中国側の重要なパートナーである中国宋慶齡基金会との協議の中で行います。
- ② 「新たな教育交流プロジェクト（河北省保定市阜平县との教育交流）」の実施内容を決定し速やかな実施を図るために、「財団事務局」「視察研修訪中団」の派遣を行います。

2. 教育交流・受入事業

- ① 第6次宋慶齡基金会教育交流代表団の受け入れについて検討していきます。
- ② 中国教育国際交流協会、中国宋慶齡基金会、教育工会及びその他の教育諸団体が派遣する団体との教育交流、及び学校参観などの受入れ手配等を行います。

3. 教育交流・支援事業

- ① 3年次となる教育交流支援を、「新たな教育交流プロジェクト（河北省保定市阜平县との教育交流）」のもとに行います。

4. 教育交流・研究等助成事業

- ① 第9回教育交流ホームステイを実施します。
- ② 「留学生による日本語作文コンクール（仮称）」を実施します。
- ③ 教育現場や個人・団体の国際教育交流活動を活発化させるため、第6回日中教育文化交流シンポジウムを開催します。
- ④ 第19回日本語作文コンクール（日本僑報社・日中交流研究所主催）の後援を継続します。

5. 機関運営などに関して

- ① 理事会、評議員会を年2回、監査委員会を年1回、各委員会、事務局会を随時行います。
- ② 年会報30号を発行します。また、『共生力』を随時発行します。ホームページの充実を図ります。
- ③ 事業推進に関する理解を図りながら会員を拡大し、よって財政基盤の確立を図るために、引き続き組織的な取り組みを進めます。
- ④ 財団の将来へ向けての在り方を検討するために、専門委員会を設置します。